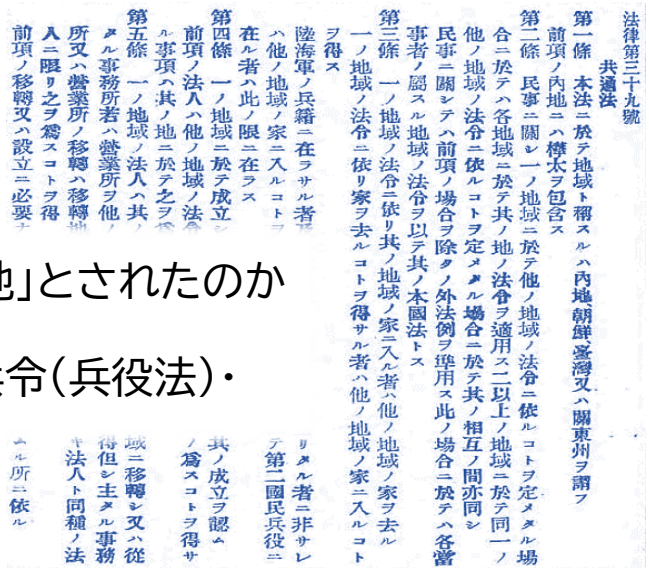
サハリン・樺太史研究会　第 61 回例会

日時　2022 年８月 20 日（土）14 時～17 時３０分

開催方式　ZOOM



法律第三十九號
共通法
第一條　本法ニ於テ地域ト稱スルハ內地朝鮮臺灣又ハ關東州ヲ謂フ
前項ノ內地ニハ樺太ヲ包含ス
第二條　民事ニ關シ一ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル場合ニ於テハ各地域ニ於テ其ノ地ノ法令ヲ適用スニ以上ノ地域ニ於テ同一ノ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル場合ニ於テ其ノ相互ノ間亦同シ
民事ニ關シテハ前項ノ場合ヲ除タノ外法例ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ各當事者ノ屬スル地域ノ法令ヲ以テ其ノ本國法トス
第三條　一ノ地域ノ法令ニ依リ其ノ地域ノ家ニ入ル者ハ他ノ地域ノ家ヲ去ル一ノ地域ノ法令ニ依リ家ヲ去ルコトヲ得サル者ハ他ノ地域ノ家ニ入ルコトヲ得ス
陸海軍ノ兵籍ニ在ラサル者ハ他ノ地域ノ家ニ入ルコトヲ在ル者ハ此ノ限ニ在ラス
第四條　一ノ地域ニ於テ成立シタル者ニ非サレテ第二國民兵役ニ前項ノ法人ハ他ノ地域ノ法人ノ成立ヲ認ムル事項ハ其ノ地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得サル
第五條　一ノ地域ノ法人ハ其ノ域ニ移轉シ又ハ從ル事務所若ハ營業所ヲ他ノ得但シ主ル事務所又ハ營業所ノ移轉ハ移轉地ノ法人ト同種ノ法人ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得
前項ノ移轉又ハ設立ニ必要ナル所ニ依ル

報告

白木澤 涼子（北海道大学）

「樺太は 1918 年制定共通法でなぜ「内地」とされたのか

大日本帝国憲法「日本臣民」・戸籍・徴兵令（兵役法）・

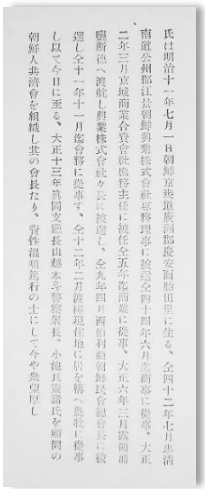
衆議院議員選挙法・地方制度から」

李 俊榮（北海道大学）

「樺太における朝鮮人の葛藤と交渉の歴史

朴炳一の活動を中心に」

評者　中山 大将（釧路公立大学）



氏は明治十一年七月一日朝鮮咸鏡道慶源郡鳥嶺面里に生る、全四十二年七月北清南満合邦都江其他朝鮮興業株式會社庶務理事に被選全四十四年六月三面事に從事、大正二年三月寶城商業合資會社熱帯出張に從事、大正六年三月鎮南浦廳所供へ渡航し鮮業株式會社の長に被選し、全九年四月酒自利會朝鮮民會總會長に復選し全十一年十一月盛會務に從事す、全十二年二月渡根現行地に居を構へ熱心に從事し以て今日に至る、大正十三年其間支廳長山越本斗警察署長、小磯其蔵譜氏を顧問の朝鮮人共濟會を組織し其の會長たり、實に篤温温篤行の士にして今や無得厚し

「朴炳一」『本斗支庁管内沿革史写真帳』北星社、1927 年

共催　科学研究費助成事業 基盤研究（C）「韓国の安山市におけるサハリン帰国者のホスト社会への適応問題　若い世代を中心に」

zoom 参加の URL は、研究会員向けの例会案内メールに記載しております。
非会員で参加をご希望の方は、前日までに下記の研究会事務担当者にお問い合わせください。
〈お問い合わせ先〉　事務担当　鈴木　su-jin@let.hokudai.ac.jp

主催　サハリン・樺太史研究会